

三、魚沼基幹病院について

問 施政方針では魚沼基幹病院ができることを、救急医療や高度医療のレベルが上がるとして歓迎しているが、湯沢病院へは運営上、経営上の問題は出てこないのか。

答 湯沢病院へは大きな影響はないが、心配なことが起きないように、県と話し合っていきたい。

四、後期高齢者の「長寿・健康増進事業」について

問 後期高齢者医療制度の中の「長寿・健康増進事業」で「肺炎球菌ワクチン予防接種費用助成」「人間ドック費用助成」等を行うよう、広域連合に予算要求をすべきである。

答 24年度は「肺炎球菌ワクチン予防接種費用」5500円のうち3000円を助成する事業を予算化し、広域連合に補助金を要求している。

五、子育て支援に関連して

問 子どもの医療費助成で、湯沢町は長い間、入院、通院とも小学校卒業までで留まっているが、これを中学校卒業まで延長する計画は無いのか。

答 財政状況を考えながら拡充について今後検討したい。

六、子ども園の早朝保育・延長保育の体制について

問 認定子ども園では、早朝保育、延長保育はどのように行われるのかについて、早めに明らかにしてほしい。

答 保護者のニーズと、職員体制のコストを総合的に勘案して決定する。もう少し時間をいただきたい。

町長施政方針は「広報ゆざわ(3・11発行)の12頁から」をご覧ください。

産業建設常任委員会代表質問

委員長 南雲 正

湯沢高原整備費が財政運営に及ぼす影響は。

答 利益を上げてもらうため必要な投資である。

上中子宅地分譲地の取り組みは。

答 集合住宅や宅地分譲等で売り出したい。

第2次湯沢町観光振興計画の策定方法及び方向性は。

答 既に、策定委員会を立ち上げた。シンクタンクを交えた現状分析、持続可能なまちづくり戦略及び実施策の決定、目標年次、目標数値の決定を行う。

上越新幹線開業30周年記念事業への取り組みは

問 JR東日本や沿線市町村との連携を図り取組むというが、独自の記念事業を展開することで「観光の町湯沢」

を全国に発信するチャンスと考えるが。

答 単独による対外的なイベントには経費が掛かる。協力して実施したい。

バイオマスタウン構想の見直しについて

問 湯沢町バイオマスタウン構想の3事業はいずれも実現困難になった。生ごみ等の堆肥化を検討すべきと思うが。

答 今後の取り組みについて関係各課の職員で検討を行いたい。

観光施設の整備改修への取り組みは

問 中央公園のテニスコート等老朽化し、観光施設の問題となっている。今後の方針は。

答 公園長寿命化計画に基づき順次整備する方針である。

問 道の駅建設、下水道事業、街並み修景事業、清津川護岸整備等、三俣振興対策の先行きが心配されるが、今後の見通しは。

答 24年着手をめざし協議を進めていく。

問 温泉街の無電柱化と商店街活性化事業の繋がりは。

答 無電柱化に向け商店街活性化事業を行う。

問 6次産業の推進について具体的な取り組みは。

答 儲かる農業を目指して特産品を支援している。

定住促進事業の見直しは

問 二地域居住の情報誌「湯沢ぐらし」が、民間発刊のフリーペーパーに掲載されることに問題は生じないか。

答 次の展開を期待している。